

めいさく めいぶん  
**名作・名文のひろば**  
名作・名文的广场

p. 153

まくらのそうし せいしょう な ごん  
『枕草子』 清少納言  
『枕草子』 清少納言

こてん  
古典  
古典

ぶん い み  
文の意味  
文章的意思

あ がた ぼたる  
明け方 黎明／ 螢 萤火虫

さくしゃ さくひん  
作者・作品について  
有关作者・作品

清少納言，是 10 世纪即将结束的时候，在宫廷内做过服侍的一位女性。『枕草子』，是清少納言根据在宫中所经历的，感觉到很幽雅的等等写的散文。被称为日本三大散文之一。

p. 152

ほうじょう き かものちょうめい  
『方丈記』 鴨長明  
『方丈记』 鸭长明

こてん  
古典  
古典

ぶん い み  
文の意味  
文章的意思

なが う あわ  
流れる 流动／ 浮く 漂浮／ 泡 泡沫

さくしゃ さくひん  
作者・作品について  
有关作者・作品

鸭长明，是 12～13 世纪的散文作家・和歌诗人。『方丈记』是鸭长明当时在京都所遇到的灾害，自己的生活，以及有关思考方法的散文。「无常观」（「没有不变的事物」的佛教的思考方法）为题材而写的。被称为日本三大散文之一。

p. 155

へい け ものがたり  
『平家物語』

こ てん  
古典

『平家物語』

古典

ぶん い み  
文の意味

文章的意思

ぎ おん らん しょう じゃ 祇園精舎 祇園精舎 / しゃ ら そう じゅ 沙羅双樹 沙羅双樹 / い き お 勢い 气势 / ほろ 滅びる 灭亡 / けん りょく 権力 权力

さく しゃ さく ひん  
作者・作品について

有关作者・作品

『平家物語』，是 13 世纪时的故事。作者还不太清楚。这个故事是描写一个叫「平家」的武士，他家族的兴旺与毁灭的。在这里记载的『平家物語』的最初部分，是「无常观」（「没有不变的事物」的佛教的思考方法）以这个故事为题材进行说明的，是非常有名的文体。很有韵律感，有的人还背诵呢。

p. 154

みち まつ お ば しょう  
『おくのほそ道』 松尾芭蕉

こ てん  
古典

『深处的狭窄的路』 松尾芭蕉

古典

ぶん い み  
文の意味

文章的意思

えい えん 永遠 永遠 / た び び と 旅人 游人 / き 来ては去っていく 来了又去了

さく しゃ さく ひん  
作者・作品について

有关作者・作品

松尾芭蕉，是在 17 世纪（江户时代）非常活跃的俳句诗人。46 岁的时候，去过北关东，东北，北陆地区旅行，在旅行的途中，看到的美丽景色以及所感受到的都写成了俳句。『深处的狭窄的路』，就是根据那时的旅行整理出来的文章，里面收藏了许多有名的俳句。

p. 157

「雨ニモマケズ」 宮沢賢治

詩

「不输给雨」 宮沢賢治

诗

単語・表現

单词・表现

負けず・負けぬ(=負けない) / 丈夫 结实 / 欲 意欲 / 怒らず(=怒らないで) / 玄米  
粗米 / 合:米などを量る単位(1合=約180cc) 合: 称大米等的容量单位 / 味噌 酱 / あら  
ゆること 一切事物 / 自分を勘定に入れずに(=自分のことは考えないで) 不考慮自己  
/ 野原 原野 / 松の林の陰 托了松树林的 / 萱ぶきの小屋 福草顶房 / 看病 护理 /  
稲の束 一捆稻子 / 負う 背负 / 喧嘩 吵架 / 訴訟 打官司 / 日照り 日照 / おろお  
ろ歩く 很慌张地行走 / でくのぼう 木偶 / 苦にもされず 不让受罪

作者・作品について

有关作者・作品

宮沢賢治（1896—1933），出生于岩手县的诗人，童话作家。贤治学习农业，作为农业学校的一名教师，为了改善各地区的农业而奋斗。大家都说「不输给雨」里面，就表现出了贤治的理想的生存方式。

※原文是用片假名书写的，为了好阅读，改写成平假名的。还有，汉字也改写成现在使用的汉字了。

p. 159

「<sup>どうてい</sup>道程」 <sup>たかむらこう たろう</sup>高村光太郎

詩

「道程」 高村光太郎

诗

<sup>たんご ひょうげん</sup>  
単語・表現

单词・表现

<sup>どうてい</sup>道程 <sup>りうてい</sup>路程 / <sup>し ぜん</sup>自然 自然 / <sup>ひとり だ</sup>一人立ち 自食其力 / <sup>こうだい</sup>广大 心胸广阔 / <sup>め はな</sup>目を離さないで 不要避开～视线 / <sup>まも</sup>守ることをせよ(=守ってほしい) 求您保护我 / <sup>つね</sup>常に(=いつも) 常常 / <sup>きはく</sup>気魄 气势 / <sup>み</sup>充たせよ(=充たしてほしい) 充满

<sup>さくしや さくひん</sup>  
作者・作品について

有关作者・作品

高村光太郎(1883-1956)，诗人，也是雕刻家。『智惠子抄』是对他的妻子智惠子的情感，以及在一起生活的美好时光进行描写的诗集，非常有名。「道程」就收藏在跟智惠子结婚那年出版的诗集中。这首诗是描写不安，迷惑，而且对未来的梦想与理想描写的。

p. 161

「生きる」 谷川俊太郎

詩

生存 谷川俊太郎

诗

単語・表現

单词・表现

木もれ陽 透過树叶の间隙射下来的阳光 / まぶしい 耀眼 / ふっと或るメロディーを思い出  
す突然回忆起一段音乐 / くしゃみ 打喷嚏 / 手をつなぐ 牵手 / ミニスカート 迷你裙 /  
プラネタリウム 天象仪 / ヨハン・シュトラウス:オーストリアの作曲家 Johann Strauss: 奥地  
利的作曲家 / ピカソ:スペインの画家 Picasso: 西班牙的画家 / アルプス Alps 山脉 / か  
くされた悪 隐藏起来的邪恶 / 注意深く 谨慎 / こばむ 拒绝 / 犬が吠える 狗在叫 /  
地球が廻る(=地球が回る) 地球在转 / 産声があがる 听到婴儿生下来的第一声哭声 /  
兵士 士兵 / ぶらんこがゆれている 荡着秋千 / いまが過ぎてゆく(=いまが過ぎていく)  
时间就这样流逝着 / はばたく 扇动翅膀 / とどろく 吼叫 / かたつむり 蜗牛 / はう 爬  
行 / ぬくみ(=ぬくもり) 温暖 / いのち 生命

作者・作品について

有关作者・作品

谷川俊太郎(1931-)、翻译，画图画书，写剧本，是有名的诗人。在各个领域中，都发表了好多作品，数都数不过来。在这首诗中，把「生存是什么」用很幽默的语言进行了描写。登载过小学校的教科书中，这个作品受到了很多日本人喜爱。

p. 165

『坊っちゃん』 夏目漱石

小説

『小男孩』 夏目漱石

小説

単語・表現

单词・表现

親譲り 遗传 / 無鉄砲 很鲁莽 / 損 吃亏 / 時分 时候 / 腰を抜かす 站不起来 / むやみ 胡乱来 / あるかもしれぬ(=あるかもしれない) 也许有 / べつだん〜ない(=特に〜ない) 没有什么特殊的〜 / 新築 新建筑 / いばる 耍威风 / できまい(=できないだろう) / 弱虫やーい 胆小鬼 / はやす 讥笑 / おぶさる(=おんぶしてもらう) 让人背 / おやじ 父亲 / 抜かさずに(=抜かさないうで) / 飛んでみせる 跳给你看

作者・作品について

有关作者・作品

夏目漱石（1867－1916），明治时代的小说家。去英国留过学，在当时是很少有的体验。研究英文学，还作过英文的教师。『小男孩』，是根据漱石在四国的松山（现今的爱媛县松山市）以做过教师的经验而撰写的小说。非常年轻，直爽的主人公，在郊区的一所高中任教，与其他的老师，学生们发生了各种各样的事件的故事。

※为了便于阅读，参考了一下高中的教材，改变了一部分的标明和语言。

p. 167

『キッチン』 吉本ばなな

小説

『厨房』 Yoshimoto Banana

小说

単語・表現

单词・表现

この世(=この世界) / つらい 难受 / 機能的 很有作用的 / よく使い込<sup>こ</sup>みである 用习惯的 / 清潔なふ<sup>せいけつ</sup>さん 很清洁的抹布 / タイル 毛巾 / ぴかぴか輝<sup>かがや</sup>く 崭新发光的 / ものすごく(=とても) / 汚<sup>きたな</sup>い台所<sup>だいどころ</sup>だって(=汚<sup>きたな</sup>い台所<sup>だいどころ</sup>でも) / 床<sup>ゆか</sup> 地板 / 野菜<sup>やさい</sup>くずが散<sup>ち</sup>らかる 乱丢在地上的蔬菜叶 / 異<sup>い</sup>様に 异常的 / ひと冬<sup>ふゆ</sup>軽<sup>かる</sup>く越<sup>こ</sup>せるような食料<sup>しょくりょう</sup>能<sup>のう</sup>度<sup>ど</sup>过一个冬天的食物 / 巨<sup>きょ</sup>大<sup>だい</sup> / そびえ立<sup>た</sup>つ 耸立在那里 / 銀<sup>ぎん</sup>の扉<sup>とびら</sup> 银色的门扇 / もたれかかる 倚靠在 / 油<sup>あぶら</sup>が飛<sup>と</sup>び散<sup>ち</sup>ったガス台<sup>だい</sup> 溅有油的煤气台 / さびのついた包<sup>ほう</sup>丁<sup>ちよう</sup> 上了锈的菜刀 / ふと目<sup>め</sup>を<sup>あ</sup>げる 突然抬起头 / 淋<sup>さび</sup>しく星<sup>ほし</sup>が光<sup>ひか</sup>る 感觉很寂寞的星星在闪亮着 / ほんの少し<sup>すこ</sup>ましな思<sup>し</sup>想<sup>そう</sup> 就那么多一点点点的思想 / 疲<sup>つか</sup>れ果<sup>は</sup>てる 累极了 / うっとり 陶醉 / 息<sup>いき</sup>絶<sup>た</sup>える 停止呼吸 / おびえずに(=おびえないで) 不害怕 / ちゃんと見<sup>み</sup>つめる 好好地凝视着

作者・作品について

有关作者・作品

Yoshimoto Banana (1964-) , 代表日本的现代女性作家之一。她的作品有着非常丰富的感性, 应用让人很容易理解的语言来表现。即使在对文学不是很感兴趣的年轻人中, 也很有人气。她撰写了各种各样的作品, 其中很多都得奖了。处女作的『厨房』就是其中的一个。这个作品是描写有关自己身边的亲朋好友去世的小说。现被翻译成各种语言, 世界上的人们都在阅读。

※作者在 2002 年, 把笔名「吉本ばなな」改写成了「よしもとばなな」。

p. 169

『ノルウェイの森』 村上春樹

小説

『挪威的森林』 村上春樹

小说

単語・表現

单词・表现

せいぜい二十年ぐらい前 充其量在二十年左右以前 / 学生寮 学生宿舍 / 何ひとつ知らない 什么都不懂 / 一人暮らし(=一人暮らし) 一个人生活 / 設備 设施 / 世間知らず 不知世事 / なんとか生きていける 不管怎样还可以生活 / 費用 费用 / 格段に安い 明显地 / なにしろ 总之 / 電気スタンド 台灯 / ~さえあれば(=~だけあれば) 只要有~ / 買い揃える 买齐 / できることなら 如果能做到的话 / 気軽に 随便 / 暮す(=暮らす) 生活 / 生活費 生活费 / わがまま 任性 / 住むところなんてどこだっていいや 住的地方哪里都行

作者・作品について

有关作者・作品

村上春樹（1949－）代表日本の現代男性作家之一。不光是日本，在海外也非常有人气。在国内外都得了很多奖。长篇小说『挪威的森林』，在日本很畅销，还拍了电影。是以主人公的恋爱为中心题材的故事，是一个以很有个性的角色登场的。

※上面的文章是第二章的开头。